

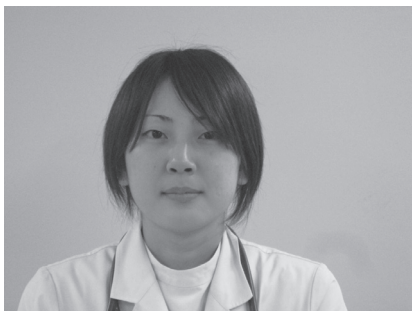
町立三春病院ニュース

●●担当医の紹介●●

今回は、4月から町立三春病院で内科医として着任された3人の先生にインタビューしました。

Q 1. 三春町の印象を教えてください。

Q 2. 患者さんや地域の皆さんに一言お願いします。



井上 みき 先生

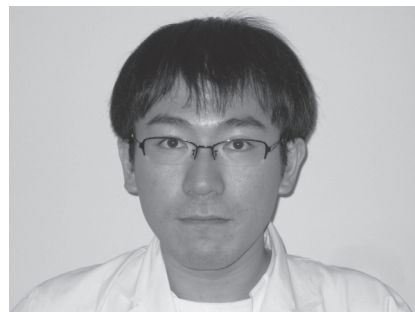
A 1. 歴史的な建造物が多く、町並みがすごくきれいだという印象をもちました。

また、滝桜や三角揚げなどの名物もあって独自の文化があると思います。

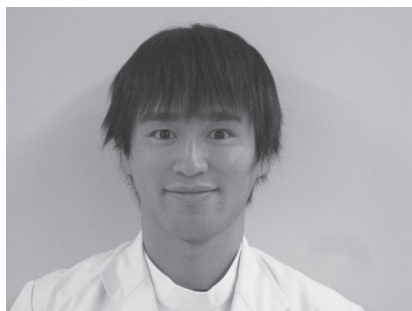
A 2. 皆さんに身近に感じていただけるように頑張りますので、よろしくお願いします。

A 1. 地域や家族、人間を大切にしている、とても「あったかい町」という印象をもちました。

A 2. 皆さんのごこと、三春町のことをいろいろと教えて頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



佐藤 寿和 先生



早坂 啓伸 先生

A 1. 赴任前は「滝桜の町」のイメージがありましたが、1ヶ月勤務した今は「家族愛の強い街」という印象があります。世代を超えた支え合いの意識が強く、都会とは違った温かさがあるような気がします。

A 2. 一生懸命働いていきたいと思います。「病気を治す」ことはもちろんですが、「病気にならない」「病気とうまく付き合う」ことを、地域の皆さんと共に考えていけたらと思いますので、よろしくお願いします。

がっさい教授の 家庭医療だより



三春町のみなさん、お元気ですか。★今年の梅雨はどうなるか、まだこれを書いている時点ではわかりませんが、6月はせめて入梅までの間は爽やかな気候が続くといいですね。★今日はちょっとみなさんに質問です。みなさんが病院である検査をします。その結果が「陽性」と出た場合に、それが本当に「陽性」なのかを考えてみたことがありますか。★たとえばインフルエンザの検査を例に取りましょう。インフルエンザの疑いのある患者さんにインフルエンザを迅速に診断するための検査を実施して、それが「陽性」だったらその患者さんは本当にインフルエンザにかかっていると診断できるのでしょうか。★残念ながら、医療のどんな検査も100%正確ではありません。本当はインフルエンザにかかっているのに「陰性」と出たり（これを「偽陰性」と呼びます）、本当はインフルエンザにかかっていないのに「陽性」と出たり（これを「偽陽性」と呼びます）することが、ある確率で起こり得るのです。★ちょっと難しい話になりましたが、このように、医学医療の確実さは100%ではありません。でも、できるだけ患者さんの利益になるように、検査結果を役立てるために家庭医が心がけていることは、より患者さんの気持ち、家族の事情、地域の特性を理解してそれらを総合して診療の参考にすることです。

【福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療部 教授 葛西龍樹】